

ほんとうの 平和って 何だろう。

「平和を祈念する作文」
受賞作品

今年で第4回目となった「平和を祈念する作文」。今回「平和とは」というテーマで作文を募集したところ、計79編の作品が寄せられました。その中から最優秀賞を受賞した3人のかたの作品を紹介します。

また、8月14日、市民文化会館で行われた平和祈念式では、受賞者の表彰式を行い、最優秀賞を受賞したかたに作品を朗読していただきました。当時を振り返る機会も少なくなり、今年で戦後53年目を迎えています。皆さんも戦争と平和についてもう一度自分自身に問いてみませんか。

小学生の部

最優秀賞 「いつしよに遊ぼうよ、おじいちゃん」



成章小学校 六年

板橋 春奈さん

家のおばあちゃんの小さいときの話です。

昭和十八年の五月に、三十三才で戦争に行ったそうです。

最初は、秋田で入隊して、それから東京に行き、フィリピンに、向かう時に船で五百人位の人が、アメリカの飛行機に、げきついされたそうです。そのまま、一年三か月位でなくなったそうです。

おばあちゃん五才、第四才、妹○才、母二十七才と四人で父のいない生活は、今のようにおかしもお米も、それに、働きたくても仕事もなく、毎日食物にこまったそうです。

ご飯といえば、米は少しで、大根やあわなつぱといっしよにたいて、おかずは、うめぼしとみそ汁で、学校に弁当をもつていくのが、いちばんつらかったそうです。お

なががすいて遊びから帰っても、おにぎりのご飯もなく、その日のあぜ道の草に、塩をつけて食べた

り、よその家にあかちゃんを、おんぶして、おにぎりをもらって食べ、なみだをこぼしながら、心からありがたうと思ったそうです。

おかしやくだもの、ジュースそれに洋服などほしいと思っても、子供の好きな物はあとまわしで、その日の食事がたいへんだった。

今は、働きたければどんな仕事もあり、ほしい物はどんな物もかえるし、今は、一番いいなあと思

いました。おじいちゃんが今生きていれば八十五才です。

「おじいちゃん、戦争は終わつたよ。」

「今は、平和。なんでも食べられるよ。」

優秀賞 26人

鳴海真知子	成章小六年	花田素子	成章小六年	殿村雅美	成章小六年	中山佳祐	成章小六年	佐藤泰輔	城南小六年	鈴木謙一	有浦小六年	沢藤郁佳	有浦小六年	西山みなみ	有浦小六年	菅原佳見	有浦小六年	平塚いづみ	長木小六年	村上光太郎	長木小六年	長内香織	矢立小五年	佐藤志保	矢立小五年	松崎冴	矢立小五年	山内侑希	矢立小五年	若狭絵梨	矢立小五年	木村綾子	城西小五年	畠山桃子	長木小五年	田中公美子	長木小五年	藤盛由果	城南小四年	佐々木唯	矢立小四年	菅原聖見	有浦小四年	鳥潟悠平	积内小四年	小松幸乃	积内小四年	櫻庭真琴	桂城小三年	近藤恵	長木小三年
-------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-----	-------

「車も走っているし、学校もあるし、自動販売機だってあるよ。」

「早くおいでよ、おじいちゃんいつしよに遊ぼうよ。」